放射線科 臨床研修到達目標

１．特徴

高度医療機器の共同利用を行っており、地域の医療機関からの CT、MRI、核医学の検査依頼を承ります。
MRI、他列型 CT、ガンマカメラと最新の装置を導入し、高速で高精細な画像検査が可能です。
画像診断報告書を即日作成し、画像と共にお渡しします。

２．ねらい

放射線診断学の基本的な原理を理解し、基本検査の読影法を身につける。
核医学検査の原理を理解し、基本検査の解釈法を身につける。
放射線治療の基本的な原理を理解する。

３一般目標

Ⅰ．放射線診断学（IVR を含む）

1）基本的なＸ線検査法を列挙し、各々の意義を述べることができる。
2）適切なＸ線検査法を指示できる。
3）基本的なＸ線写真を読影できる。
4）超音波検査の基本的な画像の成り立ちを述べることができる。
5）超音波検査の正常、異常所見を述べることができる。
6）CT の原理を説明できる。
7）造影剤の使用方法と副作用を述べることができる。
8）CT 上の頭部、体幹部の解剖学的構築を述べることができる。
9）CT の正常、異常所見を述べ、該当疾患を列挙できる。
10）ＭＲＩ検査の基本的事項を述べることができる。
11）ＩＶＲの基本的事項を述べることができる。

Ⅱ．核医学

1）核医学検査装置の基本構造を説明できる。
2）繁用される放射性医薬品を列挙することができる。
3）各種核医学検査の適応を述べることができる。
4）基本的な核医学画像の所見を述べることができる。

Ⅲ．放射線治療学

1）放射線生物学の基本的な事項を説明できる。
2）放射線物理学の基本的な事項を説明できる。
3）放射線治療装置の基本的な構造、操作法を説明できる。
4）放射線治療の適応を述べることができる。
5）疾患別に放射線治療の方法を説明できる。
6）疾患別に放射線治療計画を指示できる。
7）放射線治療患者の経過を臨床的に追うことができる。
8）放射線治療患者の副作用に対処できる。

4. 研修方略

画像診断に関しては、CT・MRI・単純写真・核医学を可能な限り多数読影し研修していただく。各指導医が正しい診断にたどり着けるように指導する。IVR・超音波では、検査に携わり指導医のもとに研修する。放射線治療を希望する者には実際の治療や治療計画を研修させる。研修中にテーマを与えて、研修の最後にパワーポイントにて発表する。

5. 週間スケジュール

科		月	火	水	木	金	土
放射線科	午前	放射線診断（IVR）	放射線診断	放射線診断（核医学）	放射線診断	放射線診断	放射線診断（超音波検査）
	午後	放射線診断	放射線診断	放射線診断（核医学）	放射線診断	放射線診断（IVR）	

※放射線治療の研修を希望する者は別途スケジュールを設定する

6. 研修評価

1）自己評価：EPOC2 を用いて自己評価を行う

（症候、疾病・病態の経験についてはＥＰＯＣ2 にて確認を行う）

2）指導医による評価：EPOC2 を用いて研修医を評価する

（症候、疾病・病態の経験についてはＥＰＯＣ2 にて確認を行う）

3）研修医による研修体制評価：EPOC2 を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

7. 指導体制

指導責任者　大久保　充

指　導　医　大高　純

山田　隆文

池永　翔一

小久保 玲志

汲田　英裕